

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA



NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R

## 【イベント開催概要・レースレポート】

### ■開催概要

- 大会名称 : 2025 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット フルコース (5.821km)
- 開催日・天候 : 2025年7月19日(土)・晴れ
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット  
三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp>
- 開催 : ★総参加台数/131台  
NEO STANDARD<Ninja250> ..... 13台  
NEO STANDARD<YZF-R25> ..... 18台  
NEO STANDARD<CBR250R> ..... 6台  
NEO STANDARD<G310R> ..... 8台  
(併催ワンメイクレース)  
Ninja Team Green Cup in SUZUKA ..... 42台  
G310 Trophy Supported by オートレース宇部 Racing Team ..... 44台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。  
[https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPでご購入いただけます。  
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

### ■次回開催予定

- 大会名称 : 2025 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット フルコース (5.821km)
- 開催日 : 2025年10月11日(土)
- 開催クラス : FUN & RUN Mix Small/EXPERT、FUN & RUN Mix Big/EXPERT  
NEO STANDARD<CBR250R/ G310R/ Ninja250/ YZF-R25>

## 【開催クラス紹介】

### 【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの4車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。

ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

<参加車両例>カワサキNinja250 ホンダCBR250R ヤマハYZF-R25 BMW G310R

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19  
Sat. Jul.



Supported by オートレース宇都 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA



NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R

## 2つのワンメイクレースも併催され、 夏空の下で大いに盛り上がった第2戦!

5月24日(土)の開幕戦、今回の第2戦、そして10月11日(土)に開催される最終戦と、2025年シーズンは全3戦で争われている「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」。「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトとするこのレースイベントは多種多様なバイクと幅広い年齢層のライダーが一堂に会し、みんなで「バイク遊び」を楽しむことで人気を集めている。

今回は、スプリントレースでありながらセミ耐久のような楽しみ方ができることから、昨今の“ファンラン”で特に注目を集めている「NEO STANDARD」のレースを中心に開催された。Kawasaki Ninja250とYAMAHA YZF-R25、Honda CBR250RとBMW G310Rのそれぞれ混走による2レースが行われたこのカテゴリーの内、Ninja250/YZF-R25の混走レースではファイナルラップの最終コーナー立ち上がりまでひと時も目が離せない激しいバトルが続いた。鈴鹿サーキットフルコースを舞台に開催されるレースならではの白熱した展開となった。

また、それに加え、2つの併催レースも盛り上がった。まず「Ninja Team Green Cup」はKawasaki Ninja ZX-25Rのワンメイクレース。ノーマル状態のマシンで参加することが条件となっているこのレースは、サーキットまで自走でOK、レーシングスーツのレンタルもあるなど、手軽に参加できることが大きなポイントだ。加えてコース上では真剣勝負ができることでも注目を集めるこのレースには、ほぼフルグリッドの42台が参加。7月18日(金)の特別スポーツ走行から19日(土)の公式予選・8周による決勝レースまで、鈴鹿サーキットフルコースを使って存分に楽しんでいただいた。

続いて「G310 Trophy」はBMW G310Rのワンメイクレース。「競技会」ではなく“運動会”。みんなでゴールして笑顔で帰ってもらう!」をコンセプトとするこのレースも7月18日(金)に特別スポーツ走行、19日(土)に公式予選・16周による決勝レースが行われた。ル・マン式によってスタートし、途中でライダー交代またはピットでの腕章交換が必要となるこのレースにはフルグリッドの44台が参加。雰囲気はアットホームながら真剣味を帯びた展開となったのが印象的だった。また、普段は「NEO STANDARD」のG310Rクラスに参戦しているが、今回はこのレースに参戦するライダーもいた。さらには「NEO STANDARD」のG310Rクラスとこのレースにダブルエントリーするライダーも目立った。

次回は「NEO STANDARD」のレースに加え、小排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」や大排気量マシンによるバトルロイヤル、「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」の各レースも開催される。舞台は今回同様、鈴鹿サーキットフルコース。1999年に始まり、25年以上の歴史を誇る“ファンラン”の2025年シーズン最終戦となる次戦も楽しみにしていただきたい。



「G310 Trophy」スタート直前。NEO STANDARDのレースフォーマットを利用し、ル・マン式スタートを取り入れるという柔軟性を見せ、ユーザーにバイクの楽しさ、レースの面白さを伝えるワンメイクレース。

※レポートに掲載の各クラス・レースの仮表彰式は、不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA



NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R

## ■NEO STANDARD<CBR250R/G310R>

公式予選ではまず高橋千帆/小牧寛由組の小牧が2分51秒580をマークしてタイミングボードのトップに。小牧は2分51秒275をマークして自己ベストを更新するとピットに戻る。その高橋/小牧組に原田武志、奥中凱心/定行里紗組と続いた。

決勝レースではポールポジションスタートの高橋/小牧組が出遅れる。ホールショットを奪ったのは2番グリッドスタートの原田(武)。それに3番グリッドスタートの奥中/定行組が続く。原田(武)と奥中/定行組はオープングラップから早くも後続を引き離すことに成功。その2台から若干遅れ、4番グリッドスタートの小林田巳生、5番グリッドスタートの樋口、高橋/小牧組、6番グリッドスタートの長瀬拓海/原田晃好組のオーダーでオープングラップを帰ってくる。3周目のヘアピンで高橋/小牧組と長瀬/原田(晃)組が転倒。3番手以降がバトルを続ける間も原田(武)と奥中/定行組は安定したペースで走行を続ける。

原田(武)は4周目に2分53秒750のファステストラップをマーク。続く5周目には奥中/定行組が2分53秒720を記録し、原田(武)のタイムを上回る。7周目終了時点で原田(武)がピットIN。奥中/定行組は9周目終了時点でピットに入り、ライダーチェンジを終える。

原田(武)は9周目に2分52秒502をマークしてファステストラップをさらに更新。原田(武)は2分52秒291、2分51秒894と立て続けにマークし、自己ベストを更新し続ける。その原田(武)がトップチェッカーを受け、G310Rクラスを制した。CBR250Rクラスのウィナーに輝いたのは奥中/定行組だった。



NEO STANDARD<CBR250R/G310R>スターティンググリッド。フルコース12周のロングランバトルを前に和気あいあいとしながらも、緊張感が漂う

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



MotoGP  
**G310 Trophy**

Supported by オートレース宇部 Racing Team

**Ninja Team Green Cup in SUZUKA**

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



NEO STANDARD<G310R>仮表彰式 (優勝:原田武志、2位:小林田巳生、3位:樋口圭祐)



NEO STANDARD<CBR250R>仮表彰式 (優勝:奥中凱心/定行里紗、2位:多賀英昭/伊藤延美、3位:原茂)

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA



NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R

## NEO STANDARD<Ninja250/YZF-R25>

公式予選ではYZF-R25クラスのランキングリーダーである鳥居典生がまずタイミングボードのトップに立つ。鳥居はアタックの最後の最後で2分45秒124をマークして自己ベストを更新した。それに同じくYZF-R25クラスランキング3位の松浦光利、同ランキング2位の杉島潤と続いた。

決勝レースではポールポジションスタートの鳥居が良いクラッチミートを披露してホールショットをゲット。それに3番グリッドスタートの杉島、2番グリッドスタートの松浦と続く。前回YZF-R25クラスで優勝したため、ハンディキャップとしてライドスルーを課せられた鳥居がオープニングラップ終了時点で1回目のピットIN。松浦、14番グリッドスタートの山下浩司/石崎篤組、杉島のオーダーでオープニングラップを帰ってくる。8番グリッドスタートの細川和彦/本田知英組がトップで2周目を終了。さらにNinja250クラスのポールシッターで4番グリッドからスタートした長克三/谷川正人組がトップに立つ。次第に杉島、長/谷川組、栗田学、細川/本田組、中村和悦、松浦の6台がトップグループを形成。そこから杉島、中村、栗田が抜け出す。

杉島と中村が8周目終了時点でピットへ。続く9周目には栗田もピットに入って腕章を交換する。杉島が10周目のヘアピンで転倒。2回目のピットINを終えた鳥居が暫定トップに。鳥居と中村が終盤にテールtoノーズの状態になるが、ファイナルラップで鳥居の前に出た中村がトップチェッカーを受け、YZF-R25クラスのウィナーに。Ninja250クラスを制したのは細川/本田組だった。



NEO STANDARD<Ninja250/YZF-R25>コースイン風景

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



MotoGP  
**G310 Trophy**

Supported by オートレース宇部 Racing Team

**Ninja Team Green Cup in SUZUKA**

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



NEO STANDARD<Ninja250>仮表彰式 (優勝:細川和彦/本田知英, 2位:西村博貴, 3位:廣瀬直人)



NEO STANDARD<YZF-R25>仮表彰式 (優勝:中村和悦, 2位:鳥居典生, 3位:松浦光利)

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19  
Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



## Ninja Team Green Cup in SUZUKA

### Ninja Team Green Cup in SUZUKA

年間5戦によって争われているシリーズ戦のこのレース。公式予選では浅海康介が2分45秒239をマークしてタイミングボードのトップに。ランキングトップタイにつけている岡田悠司が2分43秒788をマークしてそのタイムを上回った。

決勝レースではポールポジションスタートの岡田が良いクラッチミートを披露するが、3番グリッドスタートの樋口祥太がその横から伸びていく。ホールショットを奪ったのはその樋口、それに岡田、2番グリッドスタートの浅海と続く。岡田がデグナーカーブ2つ目で樋口をパスしてトップに。岡田、樋口、浅海、佐野川谷裕之のオーダーでオープニングラップを帰ってくると、その4台がトップグループを形成する。

2周目になると後続を引き離しにかかった岡田が単独状態に。その後方で樋口、浅海、佐野川谷が周回ごとに順位を入れ替えるバトルを展開する。岡田は予選中に自身がマークしたコースレコードを更新しながらも安定した走りを披露。岡田は終盤にペースを緩めたが、総合2位の浅海に1秒608のアドバンテージを築いてトップチェッカーを受けた。クラス1のウィナーは森下慎也だった。



Ninja Team Green Cup in SUZUKA コースイン風景

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



Ninja Team Green Cup in SUZUKA (クラス1) 仮表彰 (優勝: 森下慎也、2位: 樂満啓亮、3位: 山口純)



Ninja Team Green Cup in SUZUKA (クラス2) 仮表彰 (優勝: 岡田悠司、2位: 浅海康介、3位: 佐野川谷裕之)

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19  
Sat. Jul.



Supported by オートレース宇部 Racing Team

Ninja Team Green Cup in SUZUKA

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



## G310 Trophy

Supported by オートレース宇部 Racing Team

### G310 Trophy Supported by オートレース宇部 Racing Team

バイアスタイヤとラジアルタイヤの2クラス混走によって行われているこのレース。公式予選では福井宏至がまずタイミングボードのトップに立つが、平城雄飛／栗田学組の平城が2分41秒350を記録して福井を上回る。

決勝レースでホールショットを奪ったのは4番グリッドスタートの鈴木俊彦。2番グリッドスタートの福井がシケイン進入でその鈴木をパスしてトップに立つ。福井、鈴木、3番グリッドスタートの佐々木龍人、ポールポジションからスタートした平城／栗田組の栗田のオーダーでオープニングラップを終了。福井と佐々木の2台が集団を抜け出すと、3周目の西ストレートで佐々木が初めてトップに立つが、すぐに福井がトップに返り咲く。4周目終了時点で栗田がピットに入り、平城にライダーチェンジ。平城は2分42秒台、43秒台でラップを刻み、着実に順位を回復していく。9周目終了時点で福井がピットへ。佐々木は11周目終了時点でピットに入る。上位陣がピット作業を終えた後の順位は平城、佐々木、福井のオーダー。平城は終盤でも2分42秒台をマークしながら後続を引き離し続け、トップチェッカー。平城／栗田組がラジアルタイヤクラスのウィナーに。バイアスタイヤクラスを制したのは小林田巳生だった。



G310 Trophy Supported by オートレース宇部 Racing Team (ラジアルタイヤクラス) ポールポジションから優勝を飾った#57平城雄飛／栗田学組

# 2025 FUN&RUN! 2-Wheels

in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

19 Sat. Jul.



MotoGP  
**G310 Trophy**

Supported by オートレース宇部 Racing Team

**Ninja Team Green Cup in SUZUKA**

NEO STANDARD - Ninja250/YZF-R25, CBR250R/G310R



G310 Trophy Supported by オートレース宇部 Racing Team (ノビアスタイヤクラス) 仮表彰 (優勝:小田田巳生、2位:高橋英敦、3位:八木均憲)



G310 Trophy Supported by オートレース宇部 Racing Team (ラジアルタイヤクラス) 仮表彰 (優勝:平城雄飛/栗田学、2位:佐々木龍人、3位:福井宏至)